

今週（3月20日から3月24日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、前週に引き続き資金調達ニーズが強い展開となった。

無担保コールO/N物は、基準比率の上昇によりマクロ加算残高枠が拡大した先から積極的な調達が見られた。加重平均レートは、週初20日の▲0.015%から日を追う毎に上昇し、23日には▲0.013%となった。24日のビッド水準は、週末要因もあり大手行を含め総じて上昇する展開となった。

ターム物は、月内エンドのショートターム物を中心に▲0.02～▲0.01%近辺で出会いが散見された。

日銀当座預金残高は、20日に国債の大量償還・利払いにより533兆円強まで大幅に増加して始まった。その後も財政資金の払いを受けて緩やかに増加し、24日には540兆円前後まで達する見込みとなった。

●レポ市場

今週のGCT/Nは、▲0.120～▲0.085%のレンジでの取引となった。オファーサイドの資金調達姿勢が弱くなったことから、前週比でレートは低下した。

SCはカレント銘柄近辺や、チーペスト周りの銘柄にビッドが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は動意なく閑散なマーケットとなり、全ゾーン横ばい圏で推移した。

24日に実施された3M物の入札は強めの結果となり、結果発表後のセカンダリーマーケットでも堅調に推移した。

短国買入オペは、22日に前回と同額の1,000億円でオファーされ、全取利回較差、平均利回較差ともに+0.022%と、軟調な結果となった。

●CP市場

今週のCP発行市場は、電気機器、ガス、不動産等の複数の業態が大型発行を実施した。全体としては週間発行総額7,000億円程度、週間償還総額10,000億円程度と償還超のマーケットとなった。市場残高は週を通して概ね27兆円弱で推移した。

発行レートは、日銀適格担保銘柄では概ね0%から小幅のプラス圏での出会いが中心であったが、ロングターム物や残高が膨らんだ銘柄については一部の投資家に慎重な姿勢が見られ、レート水準にばらつきが見られた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日物・ T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
3/20 (月)	26,945.67	0.235	132.60	△ 0.015	△ 0.097	5,337,500
3/21 (火)						
3/22 (水)	27,466.61	0.323	132.44	△ 0.014	△ 0.096	5,350,900
3/23 (木)	27,419.61	0.295	130.85	△ 0.013	△ 0.113	5,370,300
3/24 (金)	27,385.25	0.280	130.60	△ 0.009	△ 0.118	5,401,000

来週（3月27日から3月31日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定	海外主要経済指標
3/27 (月)	2月の企業向けサービス価格指数(日銀 8:50) 1月の景気動向指数改訂状況(内閣府 14:00)		
3/28 (火)		40Y 7,000億円 3/29発行	1月のS&P/ケース・シラー住宅価格指数 3月の米CB消費者信頼感指数
3/29 (水)			
3/30 (木)		2Y 29,000億円 4/3発行	10-12月期の米GDP確報値
3/31 (金)	3月の都区部消費者物価指数(CPI 総務省 8:30) 2月の労働力調査(完全失業率 総務省 8:30) 2月の一般職業紹介状況(=有効求人倍率 厚生労働省 8:30) 2月の商業動態統計速報(経済産業省 8:50) 2月の鉱工業生産・出荷・在庫速報(経済産業省 8:50) 2月の住宅着工統計(国土交通省 14:00)		2月の米個人所得・消費支出 3月のシカゴPM景況感指数 3月のユーロ圏消費者物価指数速報値 10-12月期の英GDP改定値

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
3/27 (月)	700	40,900	41,600	CP買入 国債補完	▲ 500 46,200		45,700	87,300	TB3M発行▲63,000償還60,000
3/28 (火)	▲ 500	5,000	4,500				0	4,500	
3/29 (水)	▲ 500	▲ 5,000	▲ 5,500				0	▲ 5,500	財政融資資金の回収 40Y発行▲7,000
3/30 (木)	▲ 1,500	30,000	28,500				0	28,500	年度未諸払い
3/31 (金)	900	52,500	53,400	CP買入 新型コロナオペ	▲ 81,400	4,000	▲ 77,400	▲ 24,000	地方譲与税譲与金 年度未諸払い
週間合計	▲ 900	123,400	122,500	—	▲ 35,700	4,000	▲ 31,700	90,800	

3/27は日銀予想、3/28以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、邦銀業態を中心に調達意欲が強く、レートは高止まりする事が予想されるが、31日は年度末となり、例年通り調達を控える先が多く見込まれる事から、一時的なレート低下も予想される。債券レポのGCレートは、年度末跨ぎの取引を控え▲0.250～▲0.090%程度のレンジで推移する事が予想される。短国市場は、入札の予定はない。また、短国買入オペは、28日に1,000億円程度で予想される。CP市場は、28日にCP等買入オペが4,000億円で予定されており、結果が注目される。また、来週は年度末及び年度始めの発行にあたるため、事業法人の発行動向およびレート水準が注目される。

主要なイベントは、国内では、31日に3月の都区部消費者物価指数、2月の労働力調査(完全失業率)、2月の一般職業紹介状況(有効求人倍率)、2月の鉱工業生産・出荷・在庫速報、海外では、30日に10-12月期の米GDP確報値、31日に2月の米個人所得・消費支出(PCE)、3月のユーロ圏消費者物価指数速報値、10-12月期の英GDP改定値などの発表が予定されている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。

◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入